

2025年度 第1回 共同生活援助 yours 地域連携推進会議 議事録

株式会社チャレジョブ
共同生活援助 yours (介護サービス包括型)
利用対象：精神・知的

会議実施日時：2025年10月21日 9:30～12:30

実施場所：yours 本町

① 施設見学

yours 本町→yours→yours 加美 A 棟 1 階→yours 加美 A 棟 2 階→yours 加美 B 棟 1 階→
yours 加美 B 棟 2 階→yours 本町Ⅱ→yours One

② 地域連携推進会議 開催

1) 構成員の紹介

鴻巣市民生委員 K 様

特別支援学校教諭 A 様

近隣福祉事業所責任者 S 様

ご家族代表 N 様

ご利用者代表 M 様

2) 会議の目的・役割・効果の説明

目的

- ・ 地域連携推進会議の目的：事業所と地域との連携による

①利用者との関係づくり

②地域の方々への施設や利用者に関する理解の促進

③サービスの透明性・質の確保

④利用者の権利擁護を目的に、事業所が設置する外部の目を入れた会議

役割

- ・ 事業所の環境や事業運営の確認を目的に、構成員による施設訪問
- ・ 施設見学や職員・利用者とのコミュニケーションを通じて、
施設の環境・利用者・職員の様子などの確認

効果

- ・利用者：質の高い支援が受けられる
- ・事業所：地域で運営がしやすくなる

3) グループホーム yours について

「自立した暮らしをしたい。一人暮らしを目指してみたい」という方々のニーズに応え株式会社チャレジョブが平成 30 年 7 月グループホーム「yours」を鴻巣市神明に開設しました。

現在では yours をはじめ、yours 本町、yours 本町Ⅱ、yours 加美 A-1、A-2、yours 加美 B-1、B-2、単身型グループホームとして yours One があり合計 8 か所のホームでご利用の方が生活しています。各ホームの定員は 4 名～8 名となり、全ホームの定員数合計は 41 名（男性 19 名、女性 18 名）となります。

また、yours の運営方針は「自立した社会生活を送って頂くため、個々の持つ生活能力を延ばせる支援を行います。」として職員および世話人がご利用者一人ひとりと向き合い、支援を行っています。ご利用者様の平均年齢は 37.6 歳で、障がい種別としては知的障がいの方が 8 割程度で、精神障がいの方が 2 割程度となっています。

4) 2025 年度 年間イベントのご紹介

5 月 yours 春祭り

yours 全事業所のご利用者様が yours 本町駐車場にて合同の春祭りを開催。

職員、ご利用様がたこ焼きや焼きそば、から揚げ、流しそうめん等の屋台を設営して、皆さんで会食を行う。

11 月 yours 日帰りイベント

「電車で行こう！収穫体験」ということで、鴻巣駅を出発。

ふかや花園駅到着後、プレミアムアウトレットを散策。

深谷テラスで昼食を摂った後、野菜の収穫体験を行います。

ご自身で切符の購入や時刻表で乗車時刻を調べる等、自立を目指した活動を行う。

3 月 yours 1 泊旅行

去年は秋に希望者約 20 名のご利用者と 4 名の職員で伊豆潮風館に行きました。

今期は 3 月に 1 泊旅行を計画しています。旅行先は現在検討中。

随時 季節イベント（七夕、クリスマス、ハロウィンなど）

各ご利用者の誕生会・新規利用者様の歓迎会・ご家族様への会計報告会

5) 2025 年度 研修の予定

別紙にて今年度の研修予定の報告

研修議事録、職員ストレスチェック結果の共有

ヒヤリハットの共有、及び再発防止策の報告

BCP 策定状況の報告

6) 入居者アンケート結果

1. いずれは地域で一人暮らしをしたい・・・ 15名

2. 自立度の高い(单身型)グループホームを利用したい・・・ 8名

3. 一人暮らしの希望無し・・・ 10名

◎地域で一人暮らしをしたいという方が共同型 GH、单身型 GH 共に約半数と

多い人数でした。また、現在のところ一人暮らしの希望がなく、GH での共同生活を
続けて様子を見たいという方も 10 名と 2 番目に多い回答でした。

施設環境について（複数回答可）

1. 住居の場として快適である・・・ 30名

2. 常に掃除が行き届いている・・・ 19名

◎ほとんどのご入居者より居住の場として快適であるとの評価を頂きました。

衛生面に関しましても半数以上のご利用者から掃除が行き届いているとの

ご意見を頂いていますが、中には共有部でゴミを拾ったなどの声も見られました。

職員について（複数回答可）

1. 利用者を尊重した態度で接している・・・ 18名

2. 利用者に対して威圧的な態度や言葉遣いはない・・・ 18名

3. 相談しやすい関係がある・・・ 17名

◎各ホーム半数以上のご利用者より「利用者を尊重した態度で接している」

「利用者に対して威圧的な態度や言葉遣いはない」「相談しやすい関係がある」

とのご意見を頂いています。

今後の不安について

- ・他の利用者としっかりコミュニケーションがとれるか不安
- ・お金の使い方をしっかりと考えて行かないといけない
- ・食器洗いやトイレ掃除等の家事が一人で続けていけるかが心配
- ・今後、単身のグループホームに移動したときに寂しさを覚えたらどうしようかと不安
- ・親が亡くなった後の生活の不安

グループホームへの要望・ご意見

- ・騒がしい環境が苦手なので、出来る事を増やして、単身型の GH へ移りたい
- ・カラオケに行きたい・回転寿司に行きたい
- ・世話人室に誰か来ているか分かりやすくしてほしい

➡アンケート結果や不安に感じていること、ご要望を受け、グループホームとして改めて

1 人 1 人に寄り添い、不安感を和らげ、ご利用者の希望に近づけていくよう努めていく。

7) 見学のご感想とご指摘

ご利用者代表 M 様

利用している yoursOne では様々な世話人がいるので親にも話せないことも話せたり出来るので安心感がある。

「ただいま」「お帰り」などの挨拶も出来ている。団欒が出来るフリースペースもありそこで、気軽に話せるので良い環境。高校生活では寮生活、卒業後は親との生活だったので自分だけの環境で「やった！嬉しい！」と感じる。これが自立ということなのかなと思う。自分で出来ることも増えてきて自立度が高くなっている。ゴミの分別も自分で出来るようになってきた。自分で成長を感じている。他のグループホームもとても綺麗で機会があれば住んでみたいと思える素敵な環境でした。

事業所

M さんは他自治体からの入居になり、鴻巣市のゴミの仕分けや、地域のルールの違いに戸惑っており、支援員が慣れるまで一緒に支援をしてきました。yours では入居して間もない利用者様との関係構築をするため定期的な面談を実施しています。フリースペースの活用や何でも話せる関係が構築出来ているようで事業所としても非常に嬉しく感じます。今後もご利用者様にとって分かりやすい表現や伝え方を意識して支援にあたっていきたい。

近隣福祉事業所責任者 S 様

GH を 10 か所運営している。

自身が運営しているグループホームとの違いを見比べてみた。

洗面台やトイレが自身の事業所では 1 か所しかないが、yours では多く設置しており、利用者目線で作られていると感じた。段差を作らないことや、壁面に角を作らず丸みがあるなど利用者様への配慮をすごく感じた。非常時の対応や日常の訓練についてもしっかりやっているという印象を受けた。こうして他の事業所を見学する機会が少ないことも地域課題の 1 つだと感じていたので改めて横の繋がりが大切だと感じた。民生委員の方やご家族さまにもお会いできてよい機会になりました。

事業所

yours ではご利用者が安心して生活していただけるよう、職員に対しての研修や訓練を計画的に実施しています。設備面も弊社代表の思いから【暖かみのある家】を意識して建設しています。設備面の評価もしていただき、非常に嬉しく感じます。事業所としては地域の自立支援協議会への参加や近隣福祉事業所や特別支援学校のイベントへ参加をすることで地域の情報共有や支援に対しての考えを学んでいます。引き続き積極的に地域と繋がることでご利用者にとって安心できる場を提供していきたいと思っています。

特別支援学校教諭 A 様

世話人との関係性が重要だとアンケート結果から感じた。学校でも生徒や保護者との関係性が生徒の将来に多分に影響をする。何でも話せる関係を作ることは実際の現場では非常に難しいと感じているが、今日の会議で改めて生徒目線で分かりやすく説明をすることの大切さを感じた。外国人の世話人さんもいるようですが、コミュニケーション等に問題が無いのか気になりました。

生徒が卒業後すぐの GH の需要はないのかと思っていたが、これだけ地域に GH が増えてきて、在学中にショートステイを利用するケースもあり、ニーズが増えてきている。

外部から特別支援学校に来る方もいるので、在学中に GH を検討した方が良い生徒も増えてきた。今後連携を取らせていただき卒業生の生活の選択肢に考えていく必要性を感じた。

事業所

yours ではご利用者と職員のより良い関係を構築するために様々なイベントを企画することで関係性を強くするようにしています。共に過ごす時間を多くすることで悩みや不安を言いやすくするように努めています。外国人の職員も 2 名おります。両名ともにカンボジア国籍になります。市内の福祉専門学校に通っており、福祉の勉強をしており、来年度に介護福祉士の試験を受ける予定です。日本語能力検定でも既に N 2 を取得しており、意思疎通も言葉の使い方も出来ています。事業所としても若い方の利用相談が増えてきていると実感しており、今後も学校と連携をして、事業所見学や相談会を実施していければと考えています。

鴻巣市民生委員 K 様

全体的に設備がきれいでとても良かった。

課題としては加美の女性棟の階段にトラテープ貼ったほうが良い。段を見分けにくく将来的に事故に繋がるのではないかと心配になった。踊り場は滑りにくい加工がしてあるが、階段の高さがあり利用者が年齢を重ねていくと上り下りが大変になってくるかもしれない。

駅までも少し距離があり、外出が大変かなと感じた。食費等の会計報告も問題ないように感じる。限られた予算で利用者が少しでも楽しんで生活してもらえるように事業所がしっかり考えていて、地域でこのまま続けていってほしいと思う。

利用者が孤独にならないためには世話人さんとのコミュニケーションがすごく大きな力になるのでコミュニケーションを 1 番大切にしていけばよいと思う。

市の防災訓練や福祉祭り等と一緒に参加をしてもらい、地域に知ってもらえるように私も協力をしていきたい。

利用者 M 様の話が聞けてとても良かった。少しずつゆっくりでよいので自分の思いに通り生活していけるととても良い。

事業所

課題に挙げていただいた所は早急に対応して参ります。地域との連携は民生委員の方々の協力があって成り立つものと考えており今後も地域で行うイベントの共有や、私たちが行うイベントに参加をしていただき、ご利用者が地域に馴染んでいけるように連携を深めていきたいと考えています。

ご家族代表 N 様

息子が利用しているグループホーム以外を見学したことが無かったので、他のグループホームを見学してみて改めて yours は生活がしやすいと感じました。

息子も将来的には GH で自立してほしいと思っている。

現在、息子が周りにとっては迷惑と捉えられてしまう行為が多いが、本人にとっては自立なのかと思うところもある。支援員にとっては大変かもしれないが引き続き家族と連携して対応してほしい。yours では息子の職場や利用している福祉サービス事業者ともしっかり連携ができていますので安心している。食事の量や服薬の管理についてもこまめに連絡をくれるので家族としては非常に安心感がある。

息子もいずれは本日出席している M さんのようになってもらえたらと思う。

事業所

お一人お一人、障がいの特性が違い、支援の仕方も変わります。yours では個別支援計画書を全職員に共有して、それぞれに合わせた支援をしています。成長のスピードは個人差がありますが、出来なかったことが出来るようになった際は一緒に喜び、認め合うことでご利用者に自信を持ってもらうよう努めています。保護者が安心して預けていただける環境を今後も都度改善をしていきながら一緒に作っていきたいと考えています。ご意見やご要望は遠慮なくお申し付けください。

8) 閉会の挨拶

指摘事項への対応報告

地域の防災訓練やイベントに参加をして、地域との連携を深めていけば良いのでは。

➡11/30 に鴻巣市の合同訓練が行われるのでグループホーム責任者が参加をして地域との連携を強化する。グループホームのイベントに自治会長や民生委員の方々にも参加をしていただき、ご利用様が地域に馴染めるようにしていきたい。民生委員の方々の協力を得て、地域のイベントの共有や、連携をして引き続き支援をしていきたい。

加美B棟の階段下が見にくいため危険を感じた。事故防止のための対応が必要では

➡10/22(水)トラテープを購入し階段の各段に貼り付け実施（写真参照）

